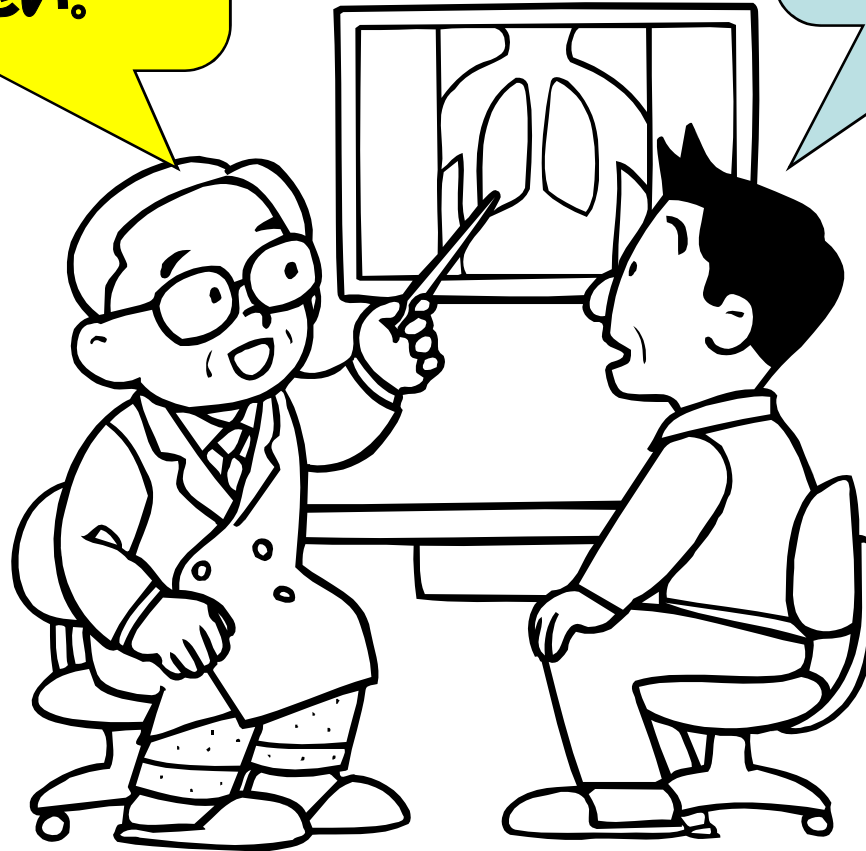


運動不足を指摘される1960万人うちゴルファー259万人

このままでは
生活習慣病になります。
運動してください。

えっ！
どんな運動をすれば
良いのですか？



加入者本人・扶養親族

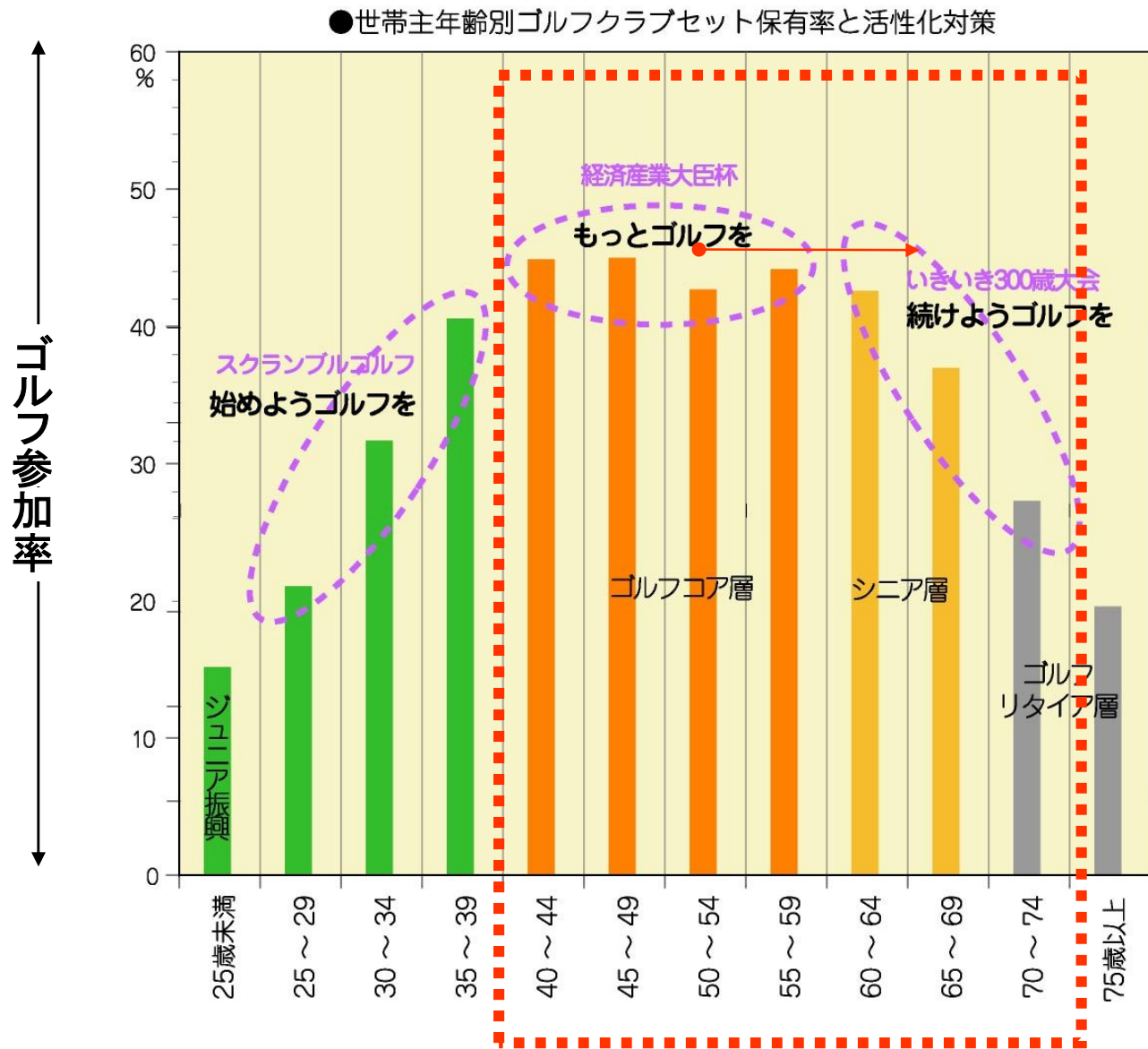
既にゴルファー
11.5%
259万人

なにか
運動しなくちゃ

インゴルファー
1701万人

1960万人

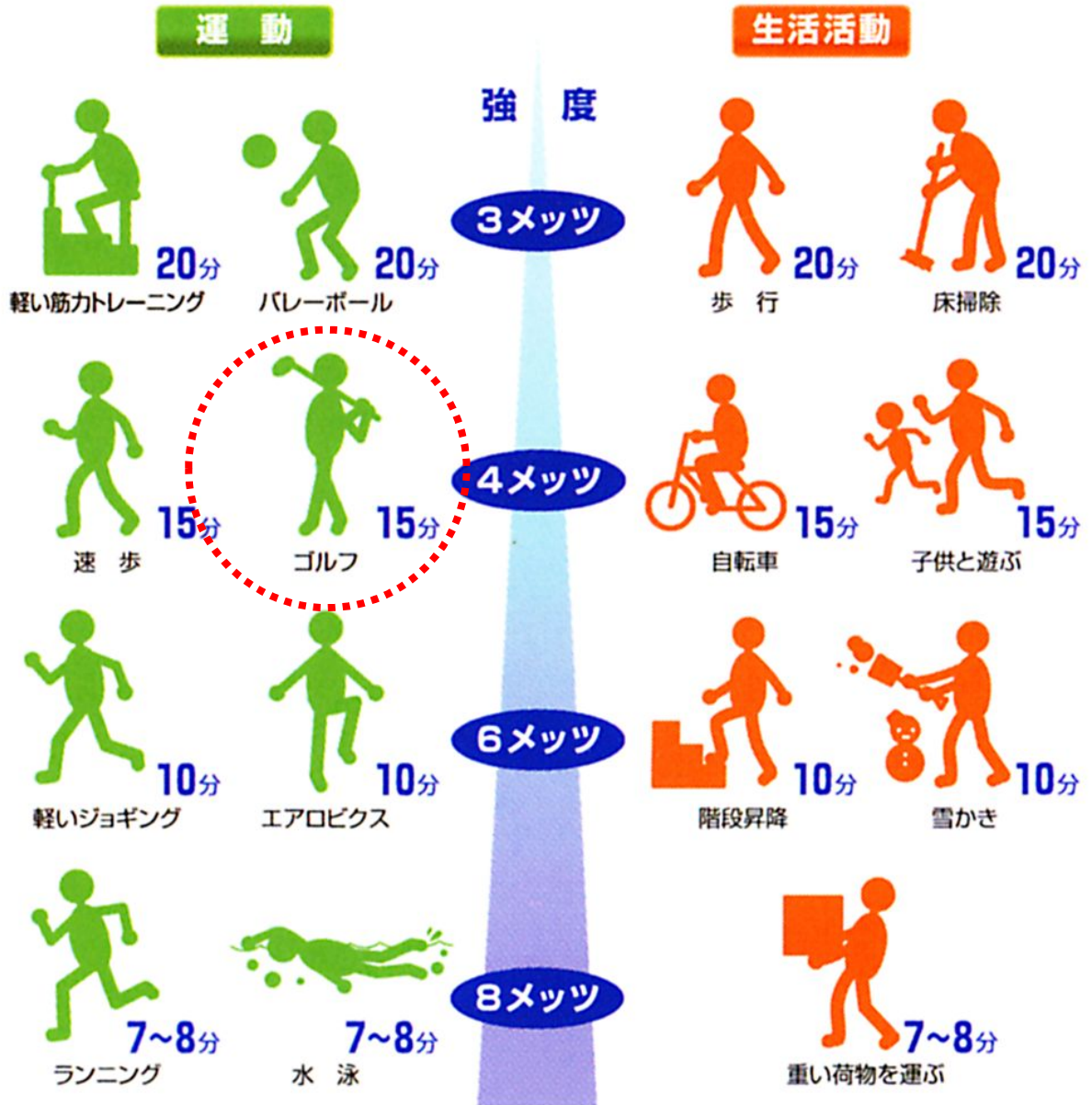
メタボ対策対象者 40歳以上はゴルフ需要の中核コア層



えっ!
 どんな運動をすれば
 良いのですか?



1 エクササイズに相当する活発な身体活動



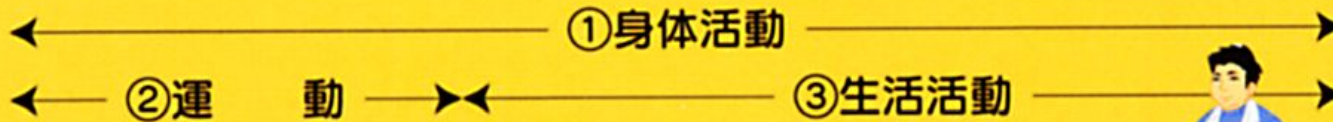
「健康づくりのための運動指針2006」
 ~生活習慣病予防のために



どれくらい
運動をすれば
良いのですか？

1週間
合計
23
エクササイズ

身体活動・運動・生活活動



中強度以上の運動

速歩、ジョギング、
テニス **ゴルフ**

中強度以上の生活活動

歩行、床そうじ、子どもと遊ぶ、
介護、庭仕事、洗車、運搬、階段…



中強度以上
(3メッツ以上)

4
エクササイズ

低強度の運動

ストレッチング…

低強度の生活活動

立位、オフィスワーク、洗濯、
炊事、ピアノ…



低強度

19
エクササイズ



ゴルフは
どれくらい
運動になるの？

「健康づくりのための運動指針2006」
～生活習慣病予防のために

●**ゴルフの運動量**
カート利用 : **3.5メッツ**
セルフバッグ : **4.5メッツ**
ゴルフ練習場 : **3.0メッツ**
(待ち時間を除く)

ゴルフは3メッツ以上と認定されている

●**約千人の実測平均**
ゴルフ場(カート利用)
1R: 13,800歩
正味時間: 142.7分

$$142.7 \div 60 \times 3.5 =$$

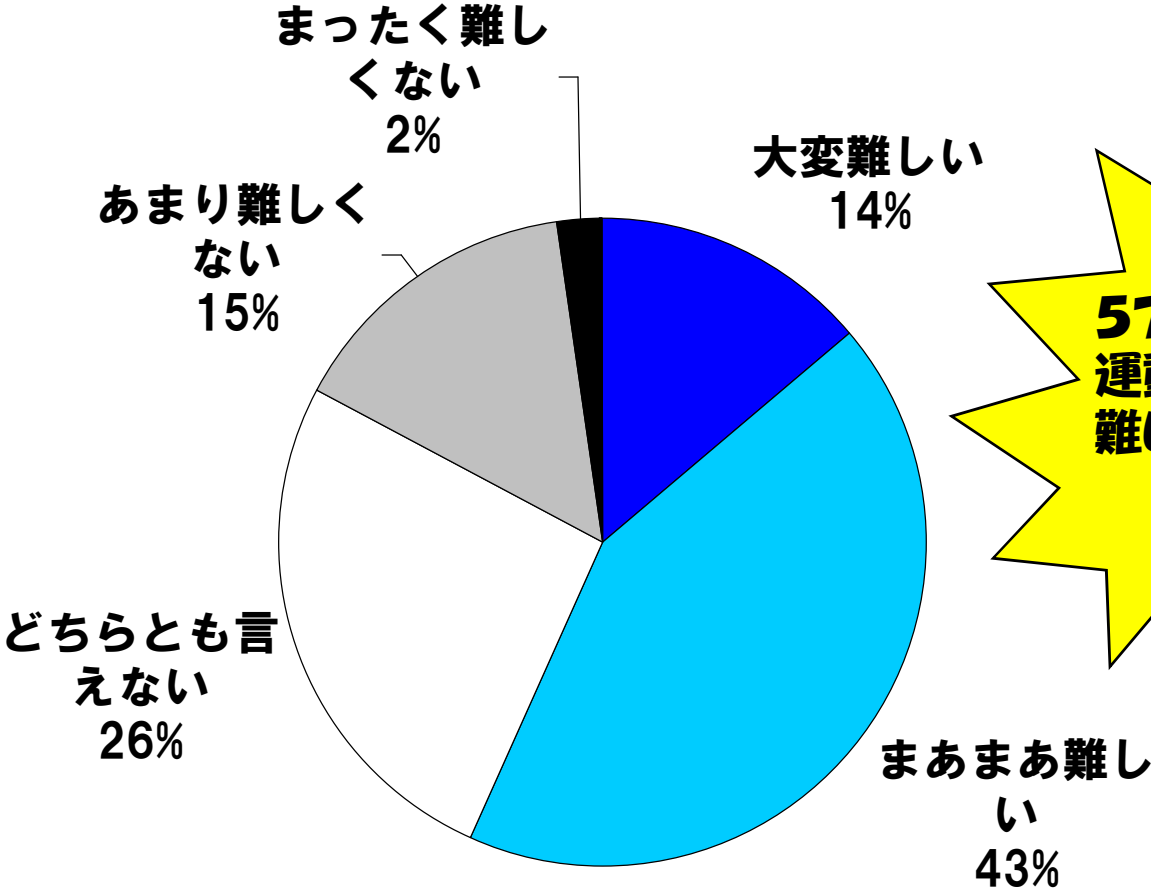
8.3エクササイズ

●**約百人の実測平均**
ゴルフ練習場
正味時間: 7.8分

$$7.8 \div 60 \times 3.0 =$$

0.4エクササイズ

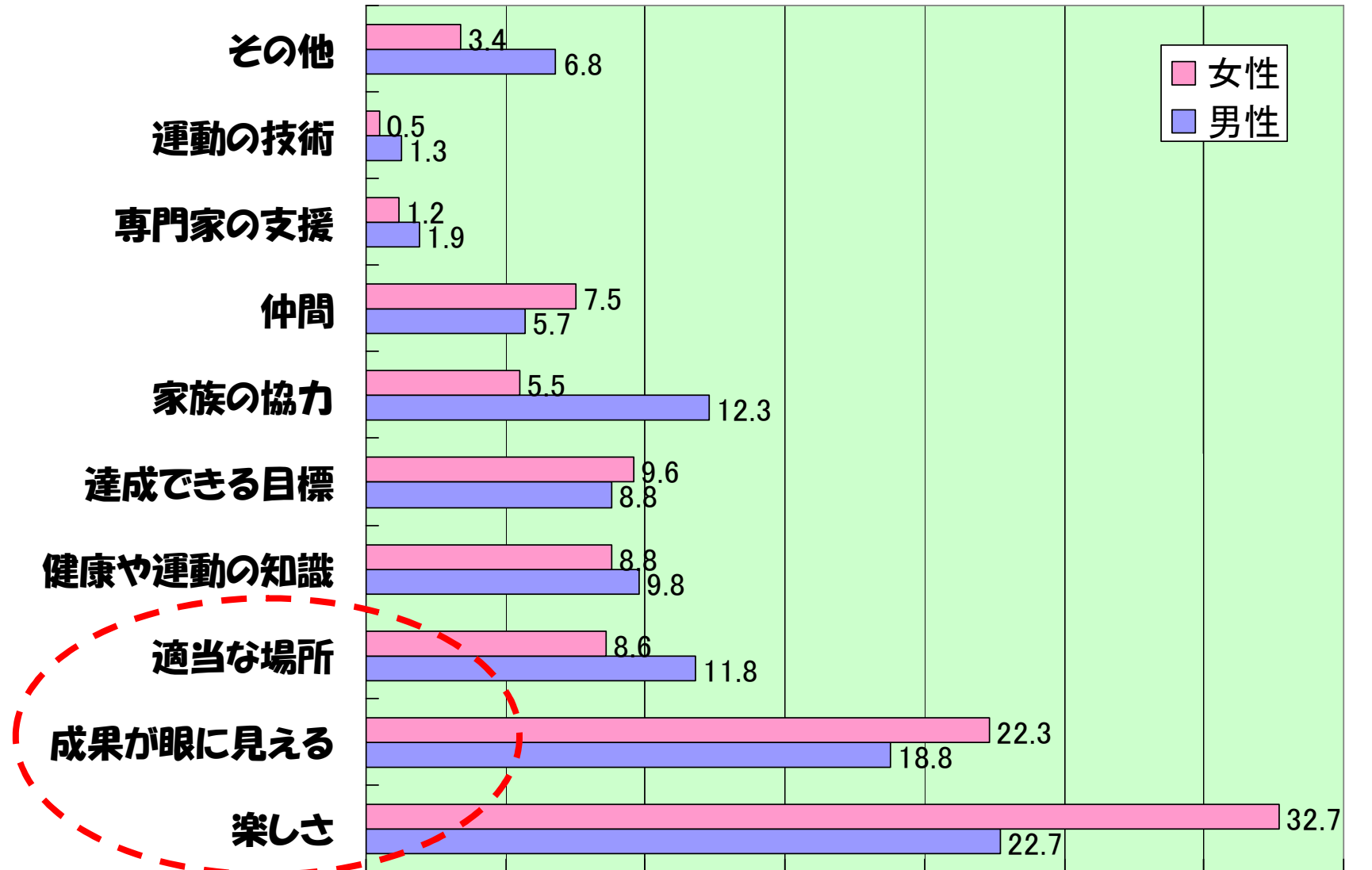
運動習慣の改善は難しい！



**57%が
運動習慣改善は
難しいと考えている。**

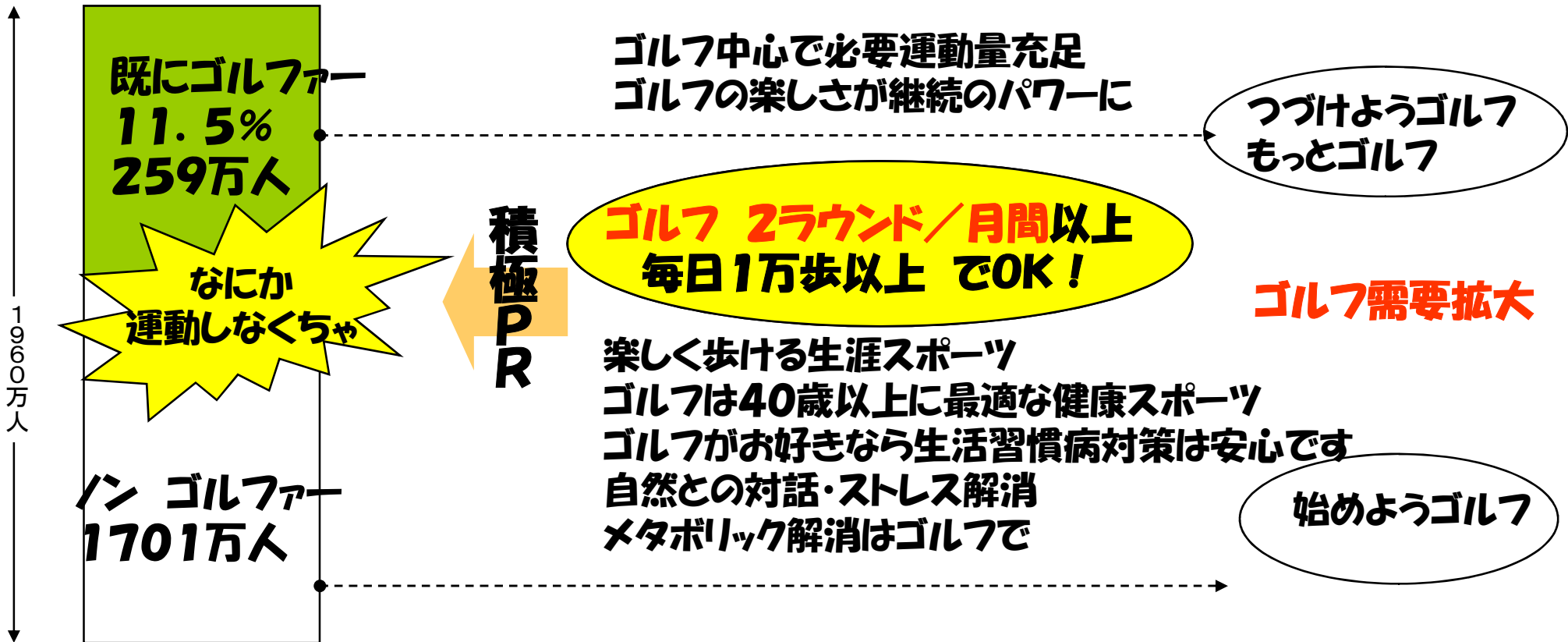
「生活と健康に関する意識調査」報告
健康的な生活習慣を促すために
必要なサポートについて より
平成18年11月17日
有効回答5179人
株式会社NTTデータ システム科学研究所

運動習慣改善が続けられる条件は！



「生活と健康に関する意識調査」報告
健康的な生活習慣を促すために
必要なサポートについて より
平成18年11月17日
有効回答5179人

加入者本人・扶養親族



●ゴルフ産業がとるべき対応策

- ① **ゴルフの楽しさ**が最大の武器(他のスポーツより優位)を活かす。
- ② **ゴルフが健康産業**である事の自覚する。
- ③ **ゴルフが健康スポーツ**だとゴルファーへの**ゴルフ産業共同PR**する。
- ④ **ニーズ**を吸収・解決できる**ビジネスモデル**確立する。

●ビジネスモデルの要件

ゴルフを中心とする運動量を**継続的に**増大できる仕組みの提供

- ①ゴルフ以外の**日常生活全体の運動量をアップ**する仕組み
- ②**目標の設定**
- ③**長期間にわたる運動量の計測**
- ④**運動量データの記録・閲覧**
- ⑤**運動目標達成度の把握**

+

ゴルフの楽しさ

もっとうまくないたい

もっと飛ばしたい

いつまでもゴルフが楽しめる筋力・体力を維持したい

スイングクリニックとの一体化

ゴルフの楽しさを活かした運動習慣定着の仕組み
ゴルフを中心にした健康クラブ

●**ゴルフコースと日常生活(ゴルフ練習場)の連携**

毎日1万歩は高い目標。普段の運動不足量はゴルフ練習場で充足

●**適切な運動量記録器具(強度・時間記録機能のある高度な万歩計)**

●**運動データの記録・分析・グラフ化ツール**

●**適切なアドバイス(対話)**

コンビニフィットネス



- ①**運動記録計、ツールの販売による増収**
- ②**会費収入(運動習慣定着指導料)**
- ③**本人プレー機会増大・入場者増加**
- ④**扶養親族(奥様)のゴルフ参入**
- ⑤**会員組織によるレピーター囲い込み**

